

放射能のモニタリングに関する緊急要望

東日本大震災によって東京電力福島第一原子力発電所で発生した事故による放射能の影響が心配されている。

大気、水道水、海水、土壌のいずれが汚染されても、住民生活に支障が出る懸念があり、継続的な監視と適切な情報公開が必要となる。

この影響については、各市町村に対し住民からの不安の声が寄せられており、その多くは居住地での、大気、水道水、海水、土壌及び学校施設・保育施設でのグラウンド等の放射能測定を求めるものである。多くの市町村では専門的に放射能を測定する機器は常備されておらず、測定値を評価する専門機関も有していない状況である。

現在、神奈川県では環境放射線のモニタリング等を実施しており、市町村においてもこのデータを活用させていただいているところではあるが、地域住民は、さらにきめ細かな測定、監視を望んでいる状況である。

つきましては、広域行政の視点から、神奈川県内における大気、海水、土壌の放射能測定ポイントの増設、定期的な測定及び測定値の公表により、県民の不安払拭に向けた一層の取り組みを早急にさせていただくことを要望するものである。

平成 23 年 5 月 30 日

神奈川県知事 黒岩 祐治 様

神奈川県市長会会長
茅ヶ崎市長 服部 信明

神奈川県町村会会長
大井町長 間宮 恒行